

平成26年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	リピート結合分子をプローブとしたトリヌクレオチドリピート病の化学生物学研究
研究代表者	中谷 和彦
審査の所見	<p>本研究は、応募者らが開発したミスマッチ塩基対をもつDNA二重鎖に対して選択的に結合できる分子を活用し、トリヌクレオチドリピート病の化学生物学的な研究を展開するものである。発症にかかわる分子機構の解明と制御を人工分子により実現するという新しい着眼点に基づく基礎研究に加え、臨床研究者との連携も計画されており、難病として認知されているトリヌクレオチドリピート病の発症抑制や治療法の開発に一石を投じる可能性をもつ。</p> <p>以上の理由により、特別推進研究として採択することが適当であると判断した。</p>